

2023 年度 教育水準向上支援事業実施報告書

2024 年 5 月 31 日

宗教法人泉バプテスト教会附属 いづみ幼稚園

本年度重点的に取り組んだ事業

1 園庭遊び 安全に過ごしながら“遊びこむ”ことに力を入れる
2 絵本読み聞かせ 豊富な蔵書と読み聞かせにより豊かな心を育む
3 ICT ツールの充実 コロナ下における家庭との信頼関係の構築
4 カプラ 積み木を使って、創造力や集中力、忍耐力を育む
5 園外保育 野外での保育活動の充実
6 地域への情報発信 積極的に情報を発信し、地域に根差した保育を提供する
7 運動 運動会にむけて競技の練習を重ね、体を動かすことを楽しむ
8 クリスマス クリスマス前一个月的視聴覚教材を用いての保育の充実

事業報告

	項目	報告
1	園庭遊び 2023 年 4 月- 2024 年 3 月	<p>住宅地にある幼稚園庭の限られたスペース内で、より自由な遊びが展開できるよう環境づくりに注力した。子どもたちはマテバシイの木を中心に組まれた遊具での遊びや木登り、砂遊び、おままごとなどに親しんだ。春には草花や昆虫に親しみ、夏には水着での水遊びを満喫、秋には落ち葉を使った製作を楽しみ、冬の寒い日には氷を作ってその様子を観察するなど五感をフルに用いて季節の移り変わりを実感することができた。また、日常的にかまどを利用した料理保育を実施した。「自」と「然」を教育目標に掲げる当園として、限られたスペースではあるが園の庭で多岐にわたる教育活動ができることは大きな強みである。</p> <p>教職員は安全を確保しながら子どもたちが自由に遊びこむことができるよう見守った。事故やヒヤリハットの報告も頻繁になされ、屋外で多く見られるケガや熱中症発生時の対応についても確認を徹底した。</p>
2	絵本読み聞かせ 2023 年 4 月- 2024 年 3 月	<p>当園では以前より絵本の読み聞かせに力を入れている。子どもたちがより多くの絵本に親しむことができるよう、各クラスの本棚だけでなく絵本専用の部屋で 2,000 冊程の蔵書を管理している。今年度は絵本だけでなく図鑑の蔵書も増やし、子どもたちの興味・関心を広げ、理解を深めることができた。時には園外保育先に絵本を持ち出して自然の中で朗読するなど工夫をこらし、子どもたちが絵本の</p>

		<p>世界に没頭することができた。このように年少期から日々たくさんの絵や言葉にふれることで、卒業する頃には就学後に読むような長文の本にも親しむほどの集中力がついた。</p> <p>こどものとも社の職員を招いた講演会では、親子で絵本に親しむことで得られる豊かさを保護者にも広めることができた。</p> <p>また、保護者が運営する「文庫サークル」の協力もあり、絵本の部屋の蔵書整理、当サークルによる毎月の読み聞かせなども滞りなく進められた。</p>
3	ICT ツールの充実 2023年4月-2024年3月	<p>当園では、保護者と対話して分かち合うことに重きを置き、日頃の保育の様子や行事予定の通達、子どもに関する相談を重ねてきた。そんな背景もあり、コロナ下でも直に会って話す環境に近い設定を作ることが課題であった。父母の会やクラスごとの分級、個人面談に取り入れた「ZOOM」は、その課題解決に大きく貢献してくれたと言える。出席が難しい際の選択肢として、今後も活用が期待できる当園にとって重要なツールとなった。また、「コドモン」というICTツールの導入により、園からの一斉連絡や保護者からの出欠連絡が日々円滑になされた。さらに預かり保育の利用時間管理や写真販売まで集約できたことは、大きな進歩と言える。</p>
4	カプラ 2023年4月-2024年3月	<p>当園では日頃から「カプラブロック」という積み木を使って遊んでいる。一人でも遊びこむことができるが、仲間と協力して大掛かりな作品をつくり上げる醍醐味もある。5月17日に開催したワークショップでは、通常の保育ではつくり上げることが難しいダイナミックな作品に親子で挑戦した。当園では、“みんなでみんなを育てる”ことを大切にしている。作品を仕上げる過程で、保護者は自分の子どもだけでなく他の家庭の子どもとも関わり、成長を見守ることができる。子どもたち同士で声を掛け合い、協力しながら一つの作品を完成させることで、集中力や忍耐力、協調性を身につけることができた。また、出来上がった作品を最後に崩す点にもこのカプラブロックの魅力が詰まっている。ダイナミックな作品が大きな音を立てて崩れる様は、子どもたちに衝撃を与えると共に新たな作品をつくり上げる意欲と創造性をかき立てる。このワークショップでの経験が、その後の日常保育のカプラ製作にも大きく反映されている。</p>
5	園外保育 2023年4月-2024年3月	<p>当園では、頻繁に近隣の公園へ足を運び、教職員と子どものみで公共交通機関を使って遠方へと出かけることもある。公園は世田谷公園や駒繫公園、東山公園など、山登りは高尾山へ、宿泊は名栗キャ</p>

		<p>ンプ場や新潟のスキー場など、年間を通して多くの場所を訪れる。仲間と共に遠くへ足を運ぶ経験を通して、自分の荷物を自分で管理することや困難にあった時には仲間と協力して解決する力を身につけた。高尾山登山や名栗キャンプ場宿泊では、アウトドア専門のスタッフに同行を依頼した。地域に住む動植物の生態や変わりやすい天候への対処方法など、専門的な知識を享受しかつ安全が守られたことは大きな恵みである。都市部の住宅地にありながら積極的に自然を求めて外へ出ていくこれらの活動は、当園の伝統的な特色である。</p>
6	<p>地域への情報発信 2023年4月-2024年3月</p>	<p>上記「5」のような当園の特色ある保育をより分かりやすく広めるため、ホームページをリニューアルし、Instagramでの情報発信にも力を入れた。保護者の方にも園に対する想いを募り、いただいた温かいメッセージをホームページに掲載することができた。園に通われた家庭の生の声を載せることで、より園生活が想像しやすくなったのではないかと考える。実際に閲覧数が増え、ホームページを見て園見学に来たとの声も多く聞くようになった。</p> <p>Instagramでは豊富な写真や動画に簡潔な説明を載せ、子どもたちの日々の詳細を発信した。地域に根差した幼稚園として、この地域にいつみ幼稚園があつて良かったと思ってもらえるように、今後も積極的な情報の開示を続けたい。</p>
7	<p>運動会 2023年9-10月</p>	<p>当園では近隣の駒繫小学校のグラウンドをお借りして運動会を実施している。当日は在園家庭だけでなく卒園・未就園家庭、幼稚園の母体である泉バプテスト教会の教会員など多くの方々を招き、非常に賑やかな催しとなる。教師たちの進行のもと、子どもたちのリレーや竹馬、ダンス、バルーンなどが披露される。子どもたちには自身の競技種目でない時間でも仲間を応援することを奨励している。同じように保護者も自分の子どもだけでなく他家庭の子どもの活躍を見守りながら応援しており、ここにも“みんなでみんなを育てる”精神が根付いていると言える。また、教師・保護者以外に会場設定や写真撮影などを手伝ってくださる方を増員したことにより、安全かつスムーズな競技進行が実現されたことにも感謝したい。</p> <p>この運動会は当日のみで完結するものではなく、「運動会ごっこ」という保育日を6回ほど設けて本番を迎えている。回を重ねるごとに体力もつき、仲間と共に体を動かす喜びを実感することができた。</p>
8	<p>クリスマス 2023年11-</p>	<p>当園ではキリスト教主義に基づき教会暦を重んじている。毎年クリスマスまでの4週間を待降節 Advent と呼びならわし、神の子イエ</p>

12月	<p>ス・キリストの到来を記念する。救い主の到来を待ち望む 2000 年前のキリスト信徒たちの心情を追体験するためである。</p> <p>期待しながら待ち望む行為は教育的である。子どもたちが将来の自分の人生に希望を持ちやすくなるという効果を持つからである。</p> <p>待降節には毎週全クラス合同の礼拝を実施する。その際には、生の木の枝で作られたクランツに蠟燭を灯す。また生木のツリーには徐々に飾りつけを施していく。さらに暗幕を施し、毎週暗がりの中で蠟燭を灯し（徐々に灯す本数を増やしていく）、子どもたちの五感に訴える特別な礼拝を行う。</p> <p>このような仕方でもクリスマス当日を待ち望んだ。五感を用いてクリスマスの意義を体得し、イエス・キリストの誕生を祝った。</p> <p>待降節の期間は、各クラスでページェント（キリスト誕生の様子を描いた劇）に向けて歌や台詞を練習し、親子で手作りのプレゼントを用意する。そしてクリスマス当日に、贈り物を交換し合う喜びや楽しさを知った。この準備の期間も教育的である。</p>
-----	--